東京ジャーミイ金曜日のホタバ

2009 年 12 月 25 日

新年祝賀

親愛なるムスリムの皆様。国家というものを生かしているものは、宗教やその人々の価値です。国家の存続は、それらの価値を次の世代に受け継がせることにかかっています。私たちは歴史に、他民族の模倣に走り、宗教的、民族的アイデンティティを失った国家が、地図上から消え去った例を見ることができます。だから、ある国家を内部的に崩壊させることを望む者は、信仰や道徳、民族としての価値を崩壊させることを、最初のステップとするのです。

親愛なるムスリムの皆様。愛情、敬意、社会生活の、調和をもつ健全なものとしての継続、若者、子供たちの育成において、宗教的価値と民族的文化の果たす役割は大きなものです。

特に、若年層を、これらの価値に応じた形で育成することは、非常に重要です。なぜなら若者たちが宗教的、道徳的価値から遠ざかることは、法に従った慣習、そして習慣に適さない行動を身につけ、有害な風潮、習慣のわなに陥ってしまう道が開かれることであるからです。だから、私たちの未来の保障であるべき若者たちを、精神的、文化的価値にふさわしい形で育てることは、父母、教育者、そして社会として私たち全てのつとめなのです。アッラーは、宗教的、道徳的基盤を守り、を保持することを命じられ、次のように仰せられておられます。「本当にこれはわれの正しい道である。それに従いなさい。（外の）道に従ってはならない。それらはかれの道からあなたがたを離れ去らせよう。このように彼は命じられる。」（家畜章第 **153** 節）

親愛なるムスリムの皆様。新年を祝うという名目で行われる集まり、催しには、ムスリムの観点からは、宗教的、文化的、伝統的な土台はありません。さらには、こういった集まりでは、知性や健康を脅かす飲酒や、家族の経済を破綻させるばくち、浪費がつきものとなりますが、これをどう弁解できるでしょうか。

だから、宗教的、文化的基盤を存続させるよう、つとめましょう。そしてこれらを次世代に伝えるよう励みましょう。新年の祝いを口実とした、アッラーや使徒（彼の上に平安あれ）がお喜びにはなられない行動のかわりに、過ぎた年月に行ったことを振り返り、新しい年においていかに、もっといい方向性を見出すことができるか、考えましょう。

この機械に皆様方のヒジュラ暦の新年を祝福し、西暦の新年において健康と幸福を願います。